



国際協力

駒ヶ根から世界へ！ 訓練所開設40周年！

駒ヶ根訓練所は今年度、開設40周年を迎え、10月の記念式典をはじめ各種記念イベントを企画、実施中です。

梅雨の晴れ間の6月22日(土)、駒ヶ根訓練所にて「大使村まつり・意見交換会」を開催しました。

「こまがね大使村まつり」は、駒ヶ根市が提唱する「大使村構想」を推進するために駒ヶ根市と青年海外協力協会(JOCA)が駒ヶ根協力隊を育てる会の協力を得て、協力隊派遣国を中心とする大使・大使館職員を駒ヶ根市に招へいして、訓練所がある街をアピールするとともに駒ヶ根市民と各国大使館の交流・発展を期待する事業です。

今回の「大使村まつり・意見交換会」は、駒ヶ根訓練所開設40周年に合わせ、お招きした大使・大使館関係者と訓練生が「協力隊の貢献と未来への期待」をテーマに直接意見交換をしながら、JICAボランティア事業および訓練所について理解を深めていただくために実施しました。



▲お招きした大使・大使館関係者

会場の「森のステージ」にはバングラデシュ、マラウイ、ミクロネシア、ネパール、スリランカの各大使館から大使、公使など15名が参加、47名の訓練生、15名の協力隊経験者が集まりました。

大使・大使館関係者ご一行を、森のステージにお迎えし、青年海外協力隊事務局山本局長による歓迎の挨拶のあとに、清水所長より訓練所の概要説明をしました。

その後、「協力隊の貢献と未来への期待」をテーマにして、国ごとのグループに分かれ、意見交換会を行いました。

ネパール、ミクロネシアのグループは、実際にこれから派遣される訓練生たちが集まり、自分たちがこれから派遣される任地のことや、活動に関して、積極的な質疑応



▲ネパールグループ

答がありました。ネパール派遣予定の林明寿佳さんは、「自分の話すネパール語が、意外に通じて嬉しかった。ネパール大使館からご家族で来てくださったので、現地の女性の生活の話なども聞ける良い機会になった。また、ネパール地震からの復興の現況を聞いて良かった」と話し、これから派遣される2年間への希望を膨らませていました。

今回は、協力隊経験者も意見交換会に参加し、訓練生と大使館関係者との橋渡しをしました。2011年にミクロネシアに派遣された協力隊経験者の林田未央さんは、ミクロネシアのグループのファシリテーターとして参加しました。「大使ご夫妻、これから派遣される隊員候補者、



▲ミクロネシアグループ

協力隊の経験者を交えて、教育、環境、福祉など様々な分野の意見交換を行うことができました。『若者の交流に希望がある』という大使の言葉が、候補者へのエールとなったと感じました」と感想を話されました。

ミクロネシア連邦のジョン・フリッツ大使は「派遣前に国の状況を直接お伝えする機会はとても貴重で、訓練生の皆さんも積極的に質問してくれて嬉しかった。政府間だけでなく、JICA海外協力隊のような民間交流がもっと密接になれば、両国のつながりが強く長く続いていく」と話し、将来のJICAボランティア事業に期待を寄せていました。

意見交換会のあと、駒ヶ根市内の銀座商店街で懇親会が開催されました。大使館関係者、訓練生、駒ヶ



よさこいダンス

根近辺にお住いの外国人の方、各県の協力隊のOB会長など、多くの皆さんが集まり、盛大なパーティーとなりました。

翌日、23日には、「大使村まつり」と「すくすく縁日」が駒ヶ根市銀座商店街で行われました。訓練生もお祭りを盛り上げるために企画した協力隊クイズや、バスボムづくり等のブースを出展しました。クイズのブースでは、訓練生が地元の子供達に、訓練中に学んでいるフランス語を使い、「ボンジュール!」と挨拶を交わす姿が見られ、子供達も楽しく日本語以外の言葉で挨拶していました。最後には訓練生がよさこいダンスを大使館関係者の目の前で披露し、迫力ある演技に会場が沸き上がりました。



すくすく縁日

大好評のエスニック・ランチを開催しました！



セコ・デ・ポジョ

駒ヶ根訓練所開設40周年の記念イベントの一つとして、駒ヶ根訓練所の食堂でエスニック・ランチを開催しています。

第1回目5月25日(土曜日)はエクアドル編。「セコ・デ・ポジョ」という鶏肉のトマト煮を食べながら、エクアドルに派遣された布田雄哉さんの体験談を聞きました。

また、第2回目6月22日(土曜日)はセネガル編。「ヤッサブレ」というセネガルの国民的なお料理を食べながら、セネガルに派遣された城村英志さんの体験談を聞きました。参加者は40名を超え、中にはお子さん連れの参加者もいて、和やかな雰囲気でした。

参加者の方々からは、「訓練所のことは知っていたけど、実際に来たことがなかったので、施設のこと、活動のこと、派遣先のことも分かって良かった」「是非、毎年実施して欲しい」という感想もいただきました。

今回は、9月21日の予定です。詳しくは、訓練所のHPやFacebookで随時お知らせします。



子供たちもおおいしくいただきました。



城村さんの体験談

協力活動(地域実践)は、地域での協力活動の実践を通じて派遣後の活動に必要なスキルを養う訓練です。



農業体験の様子

2019年度より訓練生を受け入れて下さっている活動先の1つに、道の駅 田切の里があります。売店では土産品、農産物直売、海産物、惣菜加工所の惣菜などを販売しており、レストランとそば屋が併設されています。移動販売車による販売も実施し、買い物弱者への支援にも取り組んでいます。

田切の里では地元周辺住民の高齢化と農業後継者の減少により地元農産物が店頭に並びにくくなっているという現状を打破するべく、田切地区の地域活性化へつなげる取り組みを実践する活動拠点となることを目指しています。そのために

は集客数を増加することが求められます。

訓練生たちは田植えやさつまいも苗定植、たまねぎ収穫などの農業体験を行ったり、田切の里利用者へのアンケートを実施したりすることで、集客数増加へつなげる取り組みを模索しています。

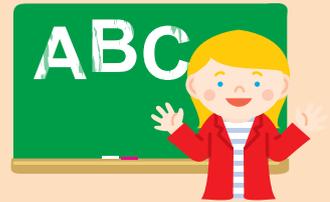
外部から来た人たちが、どうすれば農業体験などのイベントや施設を魅力的に感じることができるのか、訓練生たちが持つ外部者の視点から分析を行います。訓練生たちは利用者の声にも熱心に耳を傾けるなど、任国へ派遣後も必要な姿勢を、この協力活動(地域実践)を通じて学んでいます。



インタビューの実施

シリーズ

語学訓練こぼれ話



◆ 語学交流会

6月15日(土曜日)に2019年度1次隊の語学交流会が行われました。このプログラムは訓練第8週目に、実際にボランティアとして派遣される国々出身のゲストを招待して実施します。第一部では各クラスにゲスト1名～2名を招いて行いました。訓練生たちは、会場に集まったゲストに、緊張しながら声をかけてクラスまで案内し、日本紹介などのプレゼンテーションや、ゲストの出身国について会話をしました。今回はゲストと一緒に学習言語で桃太郎の劇をするクラスもあり、日本の文化紹介と語



▶ 懇談の様子

▶ 桃太郎の劇



学の勉強を兼ねた取り組みを行っていました。

第二部では会場を移し、言語毎に交流を行いました。この頃には両者の緊張も解け、クラスで話を聞けなかったゲストに積極的に話しかける姿勢が見られました。

語学の授業では、訓練生はほとんどの時間を担当の語学インストラクターと過ごしています。しかし実際に派遣された国では様々な言い回し、発音、会話のスピードがあります。話すスピードが速いゲストやその国独特の発音をするゲストもいて、訓練生たちは多くの刺激を受けていました。また、その国の文化や習慣を実際にゲストから聞くことで、さらに任国への気持ちが高まり、残りの訓練期間を頑張りたいと話していました。(鈴木 聖哉)



はやし
林まどかさん
2017年度4次隊
職種:交通安全
駒ヶ根市出身

みなさんこんにちは。公共交通が好き、地元が好きで就職した伊那バス(株)を休職させてもら

い、ふるさと駒ヶ根市の国際協力友好都市であるネパールのポカラ市で交通安全の活動をしています。

同市の交通環境は急速な発展を続けており、人々は便利さと共に生まれる危険になかなか気付かずに交通事故の犠牲になってしまうことが増加しているそうです。



講義の様子

私はネパール警察カスキ郡交通警察局を拠点に、交通警察官や学校関係者の方々に力を借り、さらに発展するだろうネパールの交通社会を担っていく子どもたちに、交通社会に潜む危険や身を守るためのルール啓発活動をしています。

駒ヶ根市よりもずっと規模の大きなポカラ市ですが、学校や市役所に行くと「駒ヶ根から来たんだって?」「コマガネ病院で知り合いが子どもを産んだんだよ」などと、国際協力友好都市の名の通りの両市の関係の歴史を感じ、誇らしくまたありがたく思いながら活動をさせてもらっています。

任期は残り半年ほどになってしまいました。活動を通して出会う一人一人の安全を願い、またより豊かで便利な交通社会の実現を願って日々活動を続けていきたいと思っています。



講義の様子

帰国したJICAボランティアの方

2年間の活動
お疲れ様でした!!



2017年度1次隊

いちかわしの
市川志野さん

(宇治市)

(栄村立栄中学校勤務)

●派遣国: ザンビア

●職種: 理科教育



真剣な表情で実験に取り組む生徒

私はザンビアの中央に位置するカブエという町のセカンドリースクール

で、理科教育隊員として活動してきました。ザンビアでは、国家試験で実験の実技テストが行われます。学校には実験道具や薬品が多少揃っていて、試験対策のための実験は行われていましたが、日常の授業の中ではあまり行われていませんでした。また、実験器具が整理されていないため、どんな実験ができるのか把握されおらず、赴任当初多くの先生方から「この学校には物や薬品がないから実験ができない」という話を聞きました。そこで、生徒への授業を行いながら、空いている時間を使って理科室の整備を行い、理科室にある器具や身近な材料を使って様々な実験教材の開発を行いま

した。当時実習生として来ていた大学生と、毎日試行錯誤しながら色々な実験を考える時間は、とても楽しかったです。また、授業で関わった多くの子どもたちが、目を輝かせながら実験に取り組む姿が私の活動の動力源でした。多くの人に支えられながら人生の中でまたとない豊かな体験ができたことに感謝したいと思います。



研究授業の一幕



日本文化教室(折り紙作り)に参加した生徒

2019年度1次隊(10名)

長野県出身新ボランティア

行ってきます!!

青年海外協力隊



かねだ あやこ
金田 紇子さん (飯田市) 派遣国: ガボン 職種: 助産師



赤道をまたぐ国、ガボンの首都リールビルで妊婦および乳幼児健診や予防接種などについて携わる予定です。初めての県外生活がアフリカだとは想像していませんでしたが、貴重な2年間を無駄にせず活動してきます!



すざき ゆうき
須崎 悠貴さん (茅野市) 派遣国: パナマ 職種: 数学教育



「教育力の向上によって、国は豊かになる」と信じて、日本とは地球の反対側に位置するパナマでボランティア活動を行います。現地での生活を楽しみながら、子どもたちに「数学する面白さ」を伝えてきます。



にしざわ えみこ
西澤 笑子さん (大桑村) 派遣国: コロンビア 職種: 作業療法士



メデジン市の総合病院で技術面の示唆・設備面の充実を図るため取り組みます。現地の方々と協力しながら活動したいと考えています。頑張ります!



つひち まゆ (飯田市) 派遣国: パナマ 職種: 小学校教育



首都から車で4時間ほどの距離にあるサンティアゴ市の教員養成学校へ行きます。現地の学生さんや先生方と一緒に算数の授業を考える活動を行います。文化や言語は異なりますが、現地の方と一緒に感じ、考えて活動したいです。学び、成長して帰ってきます。



はらくち ふうか
原口 風花さん (下条村) 派遣国: トンガ 職種: 美術



発展途上国で美術教育に関わる仕事がしたく、応募しました。首都付近の学校で美術の授業を行う予定です。現地の文化や人々の心の豊かさを生かしながら、創造力や発想力を育む活動をしたいと思います!



のざき はるか
野崎 榛香さん (駒ヶ根市) 派遣国: ミクロネシア 職種: 小学校教育



駒ヶ根市で育ち、小さい頃から海外協力隊を身近に感じてきました。ミクロネシアのヤップ島で、小学校の先生として算数を教えます。年中夏で海がきれいな国です。今までの経験を力に変えて、現地の人を笑顔にします!



みぞかみ あいみ
溝上 愛美さん (伊那市) 派遣国: モロッコ 職種: PCインストラクター



首都から5時間離れたテトゥアンで、学校を中退した青年に対し、word.excelの指導を通して社会的自立の支援を行います。2年間の活動を通し、学ぶ事の楽しさを共有し、自らも成長できたらと考えています。



なかむら さとみ
中村 公巳さん (大町市) 派遣国: ガボン 職種: 青少年活動



ガボンの青少年保護施設に暮らす子どもたちを対象に図画工作や音楽活動を通して情操教育を行います。持ち前の明るさと想像力を活かして、子どもたちが楽しみ、積極的に参加できるような活動を考えていきたいです。



こさか ゆうき
小坂 佑騎さん (佐久市) 派遣国: ブラジル 職種: 日本語教育



サンパウロ州・第一アリアンサ村の日本語学校に日本語教師として赴任します。現地の人々との共生・共同を目指して開設された長野県にゆかりの深いアリアンサで、たくさんの方を学んできたいと思えます。



やのくちこうじ
矢野口 功司さん (安曇野市) 派遣国: ブラジル 職種: ソフトボール



私はブラジルのパラナ州クリチバという都市で子供たちにソフトボールの指導をします。大学時代に出会った一人のブラジル人がきっかけで協力隊としてブラジルに行くことを目指しました。2年間頑張ります! Vamos Brasil!

青年海外協力隊

日系社会青年海外協力隊

Information

映画上映

訓練所開設40周年を記念して長野市芸術館で映画を上映します。

上映前には、ケニアで活動した元青年海外協力隊員がケニアの生活、活動についてのお話をします。上映作品は、「おじいさんと草原の小学校」です。

舞台は、ケニア。イギリス植民地から独立したケニアは、政府が無償教育制度をスタートし、地方の小学校には何百人もの子ども達が学校に押し寄せた。その中に、一人のおじいさんの姿が。

おじいさんは、「文字を読みたい」その一心で学校に駆け付けますが、何度も門前払いされます。それでもあきらめない彼の熱意が、周囲の人の心を動かし、奇跡を起こします。

世界最高齢、84歳の小学生としてギネス記録を持つキマニ・マルゲ氏の実話を映画化した作品です。

※一部暴力的な場面があります。

日時: 7月15日 (月・祝) 13:30~16:00

場所: 長野市芸術館 アクトスペース

内容: 青年海外協力隊経験者の体験談と、映画上映

プログラム: 12:30~ 会場

13:30~14:00 体験談

14:00~ 映画上映、16:00 終了

【お問い合わせ】

JICA駒ヶ根 担当:小川

電話: 0265-82-6151

E-Mail: jicakjv-jocv@jica.go.jp



JICA 海外協力隊 2019 年度秋募集説明会を実施します！

JICA海外協力隊は、何かしたい！何かにチャレンジしてみたい！という思いが始まりです。説明会で新たな世界が見つかるかもしれません。

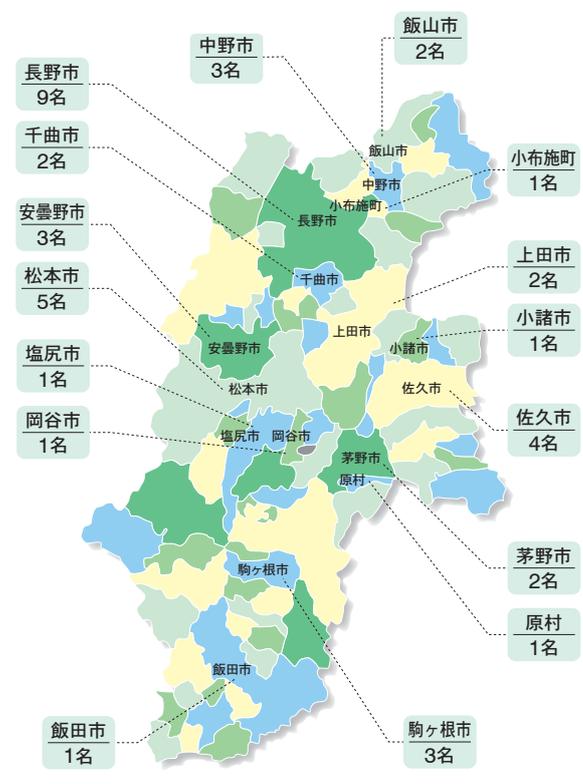
〈プログラム〉

- JICA ボランティア事業概要説明
 - 経験者による体験談
 - グループ懇談会
(応募時の不安や、現地での活動や生活についての疑問点を経験者がお答えします。)
- ※長野市・駒ヶ根市会場は、要予約。
※駒ヶ根市会場のみ、昼食費600円が必要。



派遣中JICAボランティア

(2019年7月現在)
※各地方自治体へ表敬訪問をした人数=JICA ボランティアの数としています。



募集説明会日程

開催日時	会場	体験談(派遣国・職種)
8月10日(土) 14:00～16:00	【松本市】 信毎メディアガーデン 1階 ホール	パラグアイ・ ウエイトリフティング
8月21日(水) 19:00～21:00	【上田市】 サントミュージゼ (上田市交流文化芸術 センター) 多目的ルーム	東ティモール・体育
8月24日(土) 14:00～16:00	【伊那市】 創造館 体験学習室1	ラオス・公衆衛生
9月14日(土) 午前: 10:30～13:30 午後: 14:30～17:00	【長野市】 長野市生涯学習センター (TOIGO) 第5学習室	複数名の協力隊経験者 が参加予定
9月21日(土) 11:00～16:00 (予定)	【駒ヶ根市】 駒ヶ根青年海外協力隊 訓練所 (一日体験入隊)	ブラジル・ 日系日本語学校教師

長野県関係者 JICAボランティア派遣実績

2019年5月7日現在

①青年海外協力隊員 派遣中 36名 累計 1030名	③日系社会青年ボランティア 派遣中 2名 累計 27名
②シニア海外ボランティア 派遣中 2名 累計 82名	④日系社会シニアボランティア 派遣中 0名 累計 6名

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
https://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!
https://www.facebook.com/jicakomagane

JICA駒ヶ根 メールマガジン
☑ 配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp
までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。